

妙光寺は鳴瀧の里にあり、初は内大臣藤原継の長男右少将忠奉幼名  
追福のためふれ別業寺とあり、妙光禪寺と号し、開基は法燈  
因師あり、寺あり、釋迦佛と安ど寶陀閣の額、本房和尚の筆、紫雲  
基の旧地、いしらのふ上に造る、印金堂は堂内、四方惣平金、押と  
當所の莊親、くいにとくまる。

妙光寺は鳴瀧の里の北にあり。初は内大臣藤原継の長男右少将忠奉〔幼名  
妙光〕追福のため、北山の別業と寺となし、妙光禪寺と号す。開基は法燈因  
師なり。本尊は釈迦仏と安ず、宝陀閣の額は本庵和尚の筆なり。紫金台の旧  
地はうしろの山上に遺る、印金堂は堂内の四方惣印金を押す、當所の壯觀、  
にとまる。